

KAWACHI NAGANO EAST ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN



RI会長 グレンEエステス シニア(米国 シェイズバーRC) 地区ガバナー 中島 治一郎(泉大津RC)



第2640地区
河内長野東ロータリークラブ
●創立: 1984年(昭和59年)12月12日
●事務局: 〒586-0025 河内長野市昭栄町7-3
河内長野商工会館内
電話 (0721) 50-3010
FAX (0721) 50-3020
●例会: 毎週水曜日 18時30分
●役員: 会長 山本悦治
幹事 阿部知己
会報委員長 西浦啓之
(出席連絡) 出席委員長 山口征一
電話 (06) 6644-4400
FAX (06) 6644-4468
E-mail:kawachi-higashi-ro@isis.ocn.ne.jp

2004~2005年度RI会長のテーマ — ロータリーを祝おう 100年の歩み —

第949例会 2004年9月22日(9月第4週)
本日のプログラム

No.10

卓話『世界の子供達に愛を』担当 森本会員

第948回例会記録(2004年9月8日)
司会: 柿花 S. A. A 委員長

しいと思います。

♪ソング(森本委員長)
“それでこそロータリー” “古城”
お客様の紹介(村部親睦活動委員長)
中島治一郎様(第2640地区ガバナー)
ゲスト 陳 瞳様(米山奨学生)

幹事報告(阿部幹事)

・毎日新聞社よりビデオ(世界こども救援
キャンペーン)が届いております。見ら
れる方は幹事まで。

例会変更

松原RC 9/21(火)⇒休会
松原中RC 9/29(水)⇒休会

委員長報告

米山奨学会委員会(松浦委員長)
[特別寄付] 河合会員

ガバナーアドレス(中島ガバナー)



4つのテスト……われわれの言行はこれに照らしてから

I. 真実かどうか

II. みんなに公平か

III. 好意と友情を深めるか

IV. みんなのためになるかどうか

私は今年の2月にガバナー就任の最終決断を致しましたが、その時に、特に今年はRCの誕生100周年ですので、全クラブを回らせてもらい、皆様方に今年度を非常に大切に扱っていただくようにお願いしたいと思ったわけです。私のガバナー心得も18年前とはずいぶん変わったと自覚致しております。前回は皆様方に色々なプレッシャーをお掛け致しましたが、今回はいかにすればその気になって頂けるかという事を配慮致しまして、色々なアドバイスをしながらこの100周年という大事な年を悔いの無いようにお過ごし頂きたい。そのお手伝いをしたいという様な思いでガバナーをさせて頂いております。

私だけでなくRCも大きく変わって参りました。日本におきまして一番大きな変化は会員数が減ってきた事です。RCの存在感、ステータスが低下してきましたし、地域社会の人たちのRCを見る目も変わってきました。今年度の100周年を機会に、新しい世紀に入っていくのに、どんな形のクラブ(サイズ、人数を含む)にしようかという事を、是非議論していただきたい。

どういう質の同志を選び、クラブを作るか。
どんな奉仕を中心に活躍しようか。
どういう事をすれば地域社会の皆様の尊敬をもう一度取り戻せるか。
どうすれば私達会員が自分のクラブに誇りを持って望むようになるか。

こういう事を討議して頂いて方向を定めて頂きたい。クラブが活性化して所属する意義がある、世の中に存在する価値のあるクラブに成るか成らないかの瀬戸際だと思っております。こういう事を本気になって議論なさって頂き、存在価値を高めるご努力を頂きたい。まず形を考えるのが大事だと思います。

アメリカのRCもずいぶん変わりました。

一つはアメリカのRCは単なる奉仕団体に陥ってしまったと思います。日本のロータリアンが大切にしております‘人づくり’という視点はもうなくなってしまっております。

この事は、今年の6月にシカゴで行なわれました規定審議委員会で審議されました第二のモットー ‘He profit most, who serve best.’ (最もよく奉仕する者は、もっと多く儲けられる) のHeが最終的にTheyになってしまった事でも証査されます。日本の第2680地区田中代表議員は‘私達はIサーブということを非常に大切にしてきた。Theyというのは複数ではないか、Theyは困る」と異議申し入れられましたがぜんぜん相手にされませんでした。世界529地区の代表議員たちの中には‘いったい何の話や’とせせら笑っている方もいるのです。

私達はIサーブという事を非常に大事にしてきました。Weサーブとの議論も随分致しました。ライオンズとの考え方の違いも此処にあるわけですが、RCは一人一人‘I’の魂のこもった奉仕の集積が‘We’になるのはかまわないと考えてまいりました。

汗を流し、他人様を幸せにする為に奉仕をして、その事が非常な感動を呼び、感動が動機になって、又非常に大きな奉仕に邁進する。そうする事が‘自分を作るんだ、高めていくんだ’こう言う副産物がなければあまり汗を流すことに意義が無いと思うのです。又‘奉仕の理想’と言うのが何の事かよく解らない人がいますが簡単なことです。‘思いやりを持とう、思いやった事を実行しよう’という事です。ロータリーは、唯一汗を流して人を作る、思いやりの深い人を作る、という努力を重ねておるわけであります。

アメリカ人もそういう風に議論してきましたから‘Iサーブ方式’の人づく

りの言葉が残っております。グレンエス テスさんとは監査運営委員会で議論させて頂きましたが、彼は人づくりというの R C では非常に大事だという事を 良くご存知で、アメリカでは ‘Self Development’ という言葉で表現し一人 一人の人間を成長させることを議論して きたんだ。と、むしろ私は彼に教わりました。しかし、現実におきましては来世観で神の前において善を施すことが 目的になっており、特に人づくりにこだわらなくともよいのではないか、といふうになつております。

もう一つの変化はサイバークラブの存在 であります。インターネットで例会を済ませてしまうクラブの事ですが、今世界に 21 ございます。パイロットクラブで すので、3 年後の規定審議会で存続を決めます。6 月のシカゴでの規定審議会ではメイクアップの対象としてサイバー クラブへ 30 分間アクセスして更新すればメイクアップになる事が決まった わけで、サイバークラブの存在はだんだん なしくずしに決められる方向に進んで いるようです。私はあまり言い方向に 流れてないと思っております。

皆さんよく考えてください。顔もあわせないでインターネットの中でどれだけ 魂のこもった奉仕活動をお互い相談

しあえるでしょうか、感動をどのようにしてとりつけるつもりなのでしょうか。私は顔もあわせない例会なんかはロータリーじゃないと思うのであります。

アメリカ人にとってのいいクラブとは 奉仕の機会をたくさん用意している クラブでして、なるほどインターネット のクラブというのは沢山機会を提供出来るわけです。しかし、インターネットでの更新によって全てがすんでしまう というのはロータリーでは決してないと私は思うのです。10 月の監査運営委員会がアメリカでありますので、よく実態を調査して参ります。何らかの形でフィードバックさせて頂きたいと思います。

出席報告（山口征一委員長）

会員総数 29 名 規定適用免除会員 6 名
対象会員 23 名 出席 24 名 出席率 86.96%
8/25 の出席率は MU により 100% に訂正

ニコニコ報告（阿久根親睦活動委員）

阿久根会員 ⇒ ロータリーの友に俳句が掲載され有難うございました。

週報の訂正（会長の時間）

武藤会長 → 山本会長に訂正

次週 9/29 (水) 月見例会（観心寺）

